

動物実験に関する自己点検・評価報告書

同志社大学

対象期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

2026 年 8 月 3 日

同志社大学動物実験委員会

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程の整備状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐ 機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を整備していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026年1月15日改正）」 「同志社大学動物実験委員会規程（2026年1月15日改正）」 動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 基本指針に則した学内規程が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験委員会の設置状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026年1月15日改正）」 「同志社大学動物実験委員会規程（2026年1月15日改正）」 動物実験委員会委員名簿 2025年度 動物実験活動報告
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 基本指針に則した「動物実験委員会」が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026 年 1 月 15 日改正）」 「同志社大学動物実験委員会規程（2026 年 1 月 15 日改正）」 「動物実験実施計画書」（様式 1） 「向精神薬試験研究施設設備設置者の登録について」（動物実験実施計画書 別紙） 「動物実験実施計画書（記入上の注意）」 「動物実験実施計画審査結果（通知）」（様式 2） 「動物実験実施報告書」（様式 3） 「動物実験実施報告書（記入要領）」 「動物実験実施計画変更申請書」（様式 4）
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 基本指針に則した動物実験計画の立案、申請、審査、承認、実施状況・結果報告に関する具体的な実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 ☒ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026 年 1 月 15 日改正）」 2025 年度安全管理に注意を要する動物実験計画一覧 「同志社大学動物実験施設等の管理運営に関する内規（2025 年 3 月 13 日改正）」 「同志社大学組換え DNA 実験安全管理規程（2025 年 3 月 13 日改正）」 「同志社大学組換え DNA 実験安全管理規程細則（2026 年 1 月 22 日改正）」 「同志社大学放射線安全管理委員会内規（2025 年 5 月 15 日改正）」 「R I を使用する実験に係る実施計画の審査に関する申合せ（2025 年 3 月 13 日改正）」 「同志社大学化学物質管理規程（2026 年 1 月 22 日改正）」 「同志社大学化学物質管理規程実施要項（2025 年 8 月 26 日改正）」 「医心館及び訪知館動物実験施設使用に関する申合せ（2025 年 3 月 13 日改正）」 「同志社大学医心館特殊実験棟動物実験施設利用マニュアル（2025 年 4 月 1 日改訂）」 「同志社大学訪知館動物実験施設利用マニュアル（2025 年 4 月 1 日改訂）」 「訪知館細胞培養室に関する申合せ（2025 年 3 月 13 日改正）」 「医心館北棟 6 階動物実験施設使用に関する申合せ（2025 年 3 月 13 日改正）」 「同志社大学医心館北棟 6 階動物実験施設利用マニュアル（2020 年 4 月 1 日改訂）」

「心理学部動物実験施設（京田辺校地）使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学心理学部動物実験施設（京田辺校地）利用の手引き（2020年4月改訂）」 「スポーツ健康科学部動物実験施設（京田辺校地）使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学スポーツ健康科学部動物実験施設（磐上館）利用の手引き（2020年4月1日改訂）」
3）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程」の他、遺伝子組換え実験については、「同志社大学組換えDNA実験安全管理規程」及び「同志社大学組換えDNA実験安全管理規程細則」が定められた実施体制となっている。 放射性同位元素使用実験については、「同志社大学放射線安全管理委員会内規」及び「R I を使用する実験に係る実施計画の審査に関する申合せ」が定められた実施体制となっている。 化学物質の管理等については「同志社大学化学物質管理規程」及び「同志社大学化学物質管理規程実施要項」が定められた管理体制となっている。また特定化学物質などの有害化学物質使用動物実験については、実験動物の排泄物等への薬物の影響について安全確認を行う体制となっている。 感染動物実験については、動物実験実施計画書に感染動物実験についての記入欄があり、「病原体等のBSL分類（国立感染症研究所）」等に基づき、その安全度を判断する書式にはなっている。 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程」（2026年1月15日改正）第10条において、物理的、化学的に危険な材料若しくは病原体を取り扱う動物実験等又は人の安全若しくは健康若しくは周辺環境に影響を及ぼす可能性のある動物実験等を実施する際には、関係法令等を遵守して実施することを規定しているが、病原体等の管理に関する独立した学内規程は未整備である。
4）改善の方針、達成予定時期 同志社大学における病原体等の管理に関する規程及び体制の構築を検討している。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1）評価結果 ☐ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。 ☒ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2）自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026年1月15日改正）」 「医心館及び訪知館動物実験施設使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学医心館特殊実験棟動物実験施設利用マニュアル（2025年4月1日改訂）」 「同志社大学訪知館動物実験施設利用マニュアル（2025年4月1日改訂）」 「医心館北棟6階動物実験施設使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学医心館北棟6階動物実験施設利用マニュアル（2020年4月1日改訂）」 「心理学部動物実験施設（京田辺校地）使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学心理学部動物実験施設（京田辺校地）利用の手引き（2020年4月改訂）」

「スポーツ健康科学部動物実験施設（京田辺校地）使用に関する申合せ（2025年3月13日改正）」 「同志社大学スポーツ健康科学部動物実験施設（磐上館）利用の手引き（2020年4月1日改訂）」
3）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 申合せ等が適正に整備されており、同志社大学内の実験動物飼養保管施設についても管理状況が適切に把握されている。また、各施設には管理者が配置されており、適正な管理体制が確立されている。ただし、飼養保管に関する規定について、現状の運用実態との整合性を確認し、明確化を検討する余地がある。
4）改善の方針、達成予定時期 飼養保管に関する規定の明確化を検討している。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

2018年度より、動物実験委員会委員の構成に組換えDNA実験安全主任者を加えている。
--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1）評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026年1月15日改正）」 「同志社大学動物実験委員会規程（2026年1月15日改正）」 「2024年度第5回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第1回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第2回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第3回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第4回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第5回同志社大学動物実験委員会記録」 「2025年度第6回同志社大学動物実験委員会記録」
3）評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験委員会は、規程に基づき活動を実施している。
4）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2026年1月15日改正）」 「同志社大学動物実験委員会規程（2026年1月15日改正）」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験計画の立案、申請、審査、承認、実施状況・結果報告が規程に基づき実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 該当する動物実験を適正に実施している。 □ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 □ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 遺伝子組換え生物等の使用・保有に係る手続きについて」 （DNA-様式1）「組換えDNA実験に係る第二種使用等拡散防止措置承認申請書」 （DNA-様式1（別紙1））「遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表」 （DNA-様式1（別紙2））「拡散防止措置に係る施設等及び想定される非常事態における対応策」 （DNA-様式2）「組換えDNA実験実施計画の審査結果について（通知）」 （DNA-様式3）「組換えDNA実験に係る第二種使用等拡散防止措置承認変更申請書」 （DNA-様式4）「組換えDNA実験実施報告書」 （DNA-様式4（別紙1））「保有する遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表」 （DNA-様式5）「遺伝子組換え生物等の譲渡等に係る情報提供書」 （DNA-様式6）「遺伝子組換え生物等の譲渡等（譲渡・提供及び委託）に係る報告書」 （DNA-様式7）「遺伝子組換え生物等譲受（搬入）届出書」 （DNA-様式8）「遺伝子組換え生物等の譲受（搬入）に係る報告書」 （DNA-様式9）「同志社大学所属者の学外での遺伝子組換え生物等使用実験参加に係る確認書」 （DNA-様式10）「遺伝子組換え実験に参加する際の誓約書（学外者向け）」 （DNA-様式11）「輸出時の通告」 （DNA-様式12）「SHIPPER'S DECLARATION OF Living Modified Organisms」 「遺伝子組換え生物等の移動に係る拡散防止措置届出書」

「同志社大学遺伝子組換え生物等使用実験室拡散防止措置チェックシート」 (R I-様式 1) R I 実験実施計画書 (R I-様式 2) R I 実験実施計画書の審査結果について (通知) (R I-様式 3) R I 実験実施計画変更申請書 (R I-様式 4) R I 実験実施報告書 (R G-様式 5) 放射線施設利用に係る届出書 (学外従事) 「同志社大学組換えDNA実験安全管理規程 (2025 年 3 月 13 日改正)」 「同志社大学組換えDNA実験安全管理規程細則 (2026 年 1 月 22 日改正)」 「同志社大学放射線安全管理委員会内規 (2025 年 5 月 15 日改正)」 「R I を使用する実験に係る実施計画の審査に関する申合せ (2025 年 3 月 13 日改正)」
3) 評価結果の判断理由 (判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。) 実験計画の立案、申請、審査、承認、実施状況・結果報告が規程に基づき実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「医心館及び訪知館動物実験施設使用に関する申合せ (2025 年 3 月 13 日改正)」 「同志社大学医心館特殊実験棟動物実験施設利用マニュアル (2025 年 4 月 1 日改訂)」 「同志社大学訪知館動物実験施設利用マニュアル (2025 年 4 月 1 日改訂)」 「医心館北棟 6 階動物実験施設使用に関する申合せ (2025 年 3 月 13 日改正)」 「同志社大学医心館北棟 6 階動物実験施設利用マニュアル (2020 年 4 月 1 日改訂)」 「心理学部動物実験施設 (京田辺校地) 使用に関する申合せ (2025 年 3 月 13 日改正)」 「同志社大学心理学部動物実験施設 (京田辺校地) 利用の手引き (2020 年 4 月改訂)」 「スポーツ健康科学部動物実験施設 (京田辺校地) 使用に関する申合せ (2025 年 3 月 13 日改正)」 「同志社大学スポーツ健康科学部動物実験施設 (磐上館) 利用の手引き (2020 年 4 月 1 日改訂)」 「2021 年度 実験動物の飼育保管状況に関する調査 (2021 年 10 月 31 日集計)」 「2022 年度 実験動物の飼育保管状況に関する調査 (2022 年 10 月 31 日集計)」 「2023 年度 実験動物の飼育保管状況に関する調査 (2023 年 10 月 31 日集計)」 「2024 年度 実験動物の飼育保管状況に関する調査 (2024 年 10 月 31 日集計)」 「2025 年度 実験動物の飼育保管状況に関する調査 (2025 年 10 月 31 日集計)」

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 法令に則した安全管理の下、各施設が飼養保管を行っていることを確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程（2022年6月9日改正）」 「同志社大学医心館特殊実験棟動物実験施設利用マニュアル（2025年4月1日改訂）」 「同志社大学訪知館動物実験施設利用マニュアル（2025年4月1日改訂）」 「同志社大学医心館北棟6階動物実験施設利用マニュアル（2020年4月1日改訂）」 「同志社大学心理学部動物実験施設（京田辺校地）利用の手引き（2020年4月改訂）」 「同志社大学スポーツ健康科学部動物実験施設（磐上館）利用の手引き（2020年4月1日改訂）」 「第一種圧力容器検査証（京都南労働基準監督署 様式第6号）」（年1回） 「第一種圧力容器性能検査結果報告書」（年1回） 「第一種圧力容器定期自主検査表」（月1回） 「オートクレーブ性能検査結果報告書」（年1回） 「動物実験室管理業務週間報告書」 （医心館及び訪知館は、管理業務を委託しており、委託先より毎週報告がある。） 「同志社大学遺伝子組換え生物等使用実験室拡散防止措置チェックシート」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 施設の管理や改善計画等は部門毎に任されているが、関連委員会に対し定期的に管理書類を提出している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「2025年度医心館特殊実験棟動物実験施設利用者講習会資料」（2025年4月11日よりDVD貸出）

「2025 年度訪知館動物実験施設利用者講習会資料」(2025 年 4 月 11 日より DVD 貸出) 「2025 年度実験動物取扱講習会資料」(2025 年 4 月 1 日より Web 配信 (学内のみ)) 「2025 年度遺伝子組換え生物等使用実験従事者講習会資料」(2025 年 4 月 1 日より Web 配信 (学内のみ)) 「2025 年度薬品管理に関する説明会資料」(2025 年 4 月 1 日より Web 配信 (学内のみ)) 「2025 年度実験廃液・排水の取り扱い説明会資料」(2025 年 4 月 1 日より Web 配信 (学内のみ))
3) 評価結果の判断理由 (判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。) 実験動物取扱講習会を通年で実施している (Web 配信)。 各動物実験施設の利用は、実験動物取扱講習会の受講が条件となっている。 また、施設毎に利用者講習を行っており、利用者に受講を義務付けている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「同志社大学動物実験等の実施に関する規程 (2026 年 1 月 15 日改正)」 「同志社大学動物実験委員会規程 (2026 年 1 月 15 日改正)」 「2024 年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書」 「動物実験に関する検証結果報告書 (2022 年 3 月)」 「同志社大学における動物実験施設 (2025.10.31 現在)」 「同志社大学における実験動物の飼養数 (2025.10.31 現在)」
3) 評価結果の判断理由 (判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。) 基本指針に則した自己点検・評価、関連事項の情報公開が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 同志社大学における動物実験委員会の構成

同志社大学動物実験委員会規程第3条に掲げる委員

- (1) 動物実験を実施する学部又は研究科の長から1名
- (2) 施設部長
- (3) 保健センター所長
- (4) 環境保全・実験実習支援センター副所長から1名
- (5) 生命医科学部、脳科学研究科の組換えDNA実験安全主任者
- (6) 倫理審査主事から1名
- (7) 動物実験及び実験動物に関して専門的知識を有する者で、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部及び脳科学研究科から各1名
- (8) 動物実験等に直接関与しない者で学識経験を有する者2名

2) 動物種ごとの飼養数の集計について

動物種	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度
マウス	793	1486	732	537	716
遺伝子組換えマウス	3274	2225	2443	2212	2450
ラット	196	209	131	195	185
遺伝子組換えラット	62	51	42	68	65
ウサギ	0	0	0	5	30
コウモリ	55	61	49	48	47
スナネズミ	195	166	259	250	131
サル (マカク属)	0	0	0	2	2
サル (マーモセット属)	1	1	0	0	0

3) 動物実験の実施に関して、機関として動物実験の適正化のために取り組んでいる事項

学外での野生動物(コウモリ)の生態調査等を実施する場合も動物実験計画書を提出し、学長承認を経て実施している。